



# くらき永田保育園便り

# 2月号



2月の予定		
1	月	
2	火	節分
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	布団乾燥
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	建国記念日
12	金	
13	土	小さな表現者展
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	わらべうた
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

早いもので令和2年度も残すところ二ヶ月となりました。緊急事態宣言の解除の見通しも聞こえてきませんが、明日は124年ぶりに2月2日に行われる節分です。衛生管理を進めるとともに悪い鬼と一緒に悪い空気を全部追い払ってしまいましょう。

新型コロナウイルスをどう受け止める方を見ていると「ただの風邪でしょ！」から「アホか死ぬぞ！」まで様々で、イデオロギーの対立のような様相になってきていると感じています。保育園はもともと0歳新生児からの小さい命をお預かりしている場所ですので世論に関係なく安全で衛生的な空間にしていかなければなりません。南区内でも陽性者数の増加が続いておりますので、保育園での新たな感染拡大防止策についてお知らせします。

- ① AIサーマルカメラを玄関ホールに設置しました。（登園時の検温をお願いします。園児と職員は顔認証できるように登録してあります。）
- ② 電解次亜水生成装置を設置し、衛生環境の更なる向上を図ります。
- ③ 保育室の二酸化炭素量を測定し、700PPM以下になるよう換気に努めます。
- ④ 感染者が出た場合にも保育業務が継続できるようにするための新型コロナ版BCP（事業継続計画）を策定し職員間で共有しました。

横浜市内の保育園でもクラスターが発生し、休園の措置を取らねばならないケースも散見されるようになってきました。コロナ禍にあってもお仕事を継続し、また、子どもたちのリズムある生活や日々の楽しみを保障していくためにも体調が崩れそうな症状が見られた時には積極的にお休みし、事態を大きくしないことが大切だと思います。安心した保育園のコミュニティづくりのためにもご協力をお願いします。

## 保育園からのお知らせとお願い

- ① 3月31日（水）は次年度準備という事で、例年通り18時30分までの保育（時間延長サービスがありません）となります。年度末のお忙しい時期ではありますが、保育園運営にご協力をお願いします。
- ② 会計処理の関係上 給食費、おむつ代の集金を3月末分までをまとめてお支払いただきますようご協力下さい。支払方法についてご質問等のある方は直接園長までご相談下さい。



## 給食室から

寒い日が続いていますね。今月の2日は節分です。

豆まきに使われている大豆は、醤油や味噌、豆腐などに加工され、給食にも、色々な大豆製品を取り入れたメニューがあります。そんな大豆は「畑の肉」と呼ばれるほどタンパク質が多く、その他にも、カルシウム・鉄・ビタミンB1、Eが含まれており、これらは現代人に不足しがちな栄養素でもあります。たくさんの栄養素を一手に補える大豆。毎日の食事にプラスしてみてはいかがでしょうか。

# クラスの様子をお伝えします

今月のテーマは『 小さな表現者 』です！



## にこにこ

にこにこ組は「触れる」をテーマに様々な活動に取り組んでいます。園生活に慣れ、周囲へ興味が広がってきた子どもたちに、よりたくさんの体験をしてもらいたく、機会をつくってきました。子どもたちはウッドデッキに出て葉っぱに触れたり、育てていたトマトやベビーキャロットを取ったりと、様々な”触れる”を経験しました。実際に触って感触に驚いたり、トマトとホウセンカの葉っぱを見比べ、違いに気付くような姿も見られました。この『モノとの出会い』の様子を小さな表現者展で展示します。子どもたちの「触りたい！」という気持ちを感じていただけるような展示をし、お待ちしております！



## よちよち

よちよち組では最近小麦粉粘土を使って遊んでいます。初めて遊ぶときには小麦粉の状態から保育士と一緒に小麦粉粘土を作る体験をしました。初めは小麦粉を見て、触ろうとしたり、匂いを嗅いでみたり、触るのを拒んでいたりと様々な反応を見せていた子どもたち。そこから水を混ぜ、形がどんどん変わっていくと、子どもたちは身を乗り出して覗き込むほど興味を引かれていました。実際に小麦粉粘土を触ってみると、叩いたり、伸ばしたり、握ったり、引っ張ったり、ちぎったり…様々な遊び方をみせてくれました。これからも小麦粉粘土でたくさん遊びたいと思います。この様子もブログで紹介していきたいと思います！

## すくすく

すくすく組は、初めての体験や色（絵の具）をテーマに楽しむことができました。個人の教材（糊、ハサミ、クレパス等）を使うようになった子どもたちは「これ、ぼくの～わたしの～」と言い、大喜びで楽しんでいます。はじめての糊では、指に付ける糊の量を「これくらい？」と聞きながら付けて貼り「ついたよ！」「もっとやりたい」と時間が足りないくらい楽しんでいました。糊が手に付くのが気になる子もいますが、1回ごと濡れタオルで拭きながら楽しんでいます。はじめてのハサミには苦戦し、指穴に指を入れて「グーパー」と言いながらハサミの開閉を繰り返していました。紙が切れた時の子どもたちの目は輝き、紙が切れた驚きや、出来た喜びを感じていました。これから、もっともっと出来ることが増えて、製作や粘土！クレパスでの自由画等、やりたいことが無限大になることでしょう。

## 異年齢

異年齢の今年のテーマは『“モノ・コト・ヒト”との関わり』です。一年間、子どもたちが“モノ”や“ヒトと”関わっていったことで、どんな変化があったのか、そしてどんな育ちがあったのか、作品を通して感じていただければと思っています。異年齢全クラスでの共同制作は『しゃぼん玉』です。12月にしゃぼん玉兄弟が来て下さり、色々な種類のしゃぼん玉を見たり、触ったり、匂いを嗅いだり、全身で楽しんだ子どもたち。しゃぼん玉の中に入る経験もして、より一層しゃぼん玉が好きになった様子でした。作品は、8枚を繋げた大きい模造紙にたくさんのしゃぼん玉を描いたものです。のびのび組はクレヨン、わくわく組は絵の具、いきいき組は色水等様々な物で描きました！いきいき組の色水は、子どもたちが自分で色を作った物です。子どもたちのその時々姿や成長をお伝えしたいと思っていますので、是非お子様と一緒に楽しみください！

## 食育係

木育係とのコラボ企画を行いました。今回はバタフライピーという花のドライフラワーを使って優雅なTeaTime！ポットにドライフラワーを入れお湯を注ぐときれいな青色になります。ここにあるものを入れると、なんと紫色に変化するのです！それは何かというと…「レモン汁」！！この色の変化はレモンなどに含まれる酸味成分のクエン酸に反応して起こります。今後は子どもたちとも楽しめるような企画を立てていきます。昨年頃にSNSでも話題になっていました。ぜひのぞいてみてください。



## 木育係

木育係では、『園庭に野鳥を呼ぼう』企画をしていて、先日、プチ研修第3弾『身近にいる鳥たち』を行いました。園には、よく見られるスズメ、カラスをはじめ、メジロ、ヒヨドリ、キジバト、シジュウカラなどの鳥がやって来ます！これらの特徴や鳴き声を学びました。カラスにはハシブトガラス（嘴が大きく太い）とハシボソカラス（嘴が小さくて細い）の2種類がいて鳴き方も違います。（ハシブトガラス→「カ～カ～」、ハシボソガラス→「ガ～ガ～」）カラスを見かけた時には鳴き声にも耳を傾けてみてください。その他、係で『草花かるた』（園にある48種類の草花）を作りました。子どもたちは個々にお気に入りの札があるようです。『朝に咲く 毎日お早う 朝顔さん』『道端で 春を知らせる 紫スミレ』『おならじゃないよ コナラだよ』など…いき組を中心に草花カルタを楽しんでいます。

## 遊言育係

年末に募集した玩具づくり（乳児用フィルムケーススナップ&びりびりペッタン）のボランティア、なんと11名の方が名乗り出てくださいました！「難しかった～」「楽しかった」など様々な感想と共に完成した玩具をお預かりしました、早速子どもたちの手に渡っています。子どもが手にする玩具を見る度に、作ってくださった保護者の方の顔が浮かび、子どもたちにもきっと手作りの温かさが伝わるのだろうと感じています。ご協力いただいた皆さん、どうもありがとうございました！

今後もボランティア募集を予定しています。ご興味のある方、ご協力いただける方は気軽にお声がけください。よろしくお願いたします。

